



エコープ生活協同組合の 本業を通じた地域貢献のとりくみについて

エコープ生活協同組合 組合員活動部 阿利浩二





エコーブ概要 (2020年3月末日現在もしくは2019年度実績)



組織概要



- 設立 1983年4月1日
- 本部所在地 福岡県糟屋郡篠栗町
- 組合員数 福岡県内で517,790世帯
(県内全世帯の22.37%が組合員)
- 出資金(資本金) 204.20億円
- 供給高(売上高) 557.25億円
- 職員数(従業員数) 2,954名

【主な事業内容】 ※子会社によるものも含む

- 無店舗事業 (班配達・個別配達など)
- 店舗事業
- 「夕食(弁当)」や「水」の宅配事業
- 福祉事業 (高齢者、子ども・子育て、しょうがい者)
- 共済・保険事業 ■ 電力小売事業
- 生活関連サービス事業 (旅行・住宅・葬祭など)
- 農林産物の生産事業 (しいたけ・ミニトマト)
など...



供給高に占める割合が無店舗事業で約84%
コロナ下、組合員の要望が高まりました。



エフコープの組合員加入状況(最新)



組合員数	54万1,177名
組織率 (世帯数に対する組合員数)	23.23%



エフコープ篠栗本部
住所：糟屋郡篠栗町中央1-8-1

2021年2月末見込み

エフコープの事業高

事業高	約634億円
------------	---------------

県内全域に事業所があります

- 2月度決算から、2020年度の損益の到達「見込み」は◇供給高634億 ◇経常剰余金28億。
供給高は、1993年度の約639億円・92年度の約634億円に次いで設立以来2・3番目に多い見込み。
経常剰余金は、1990年度の約21.5億円を大きく上回り、過去最高となる見込み。



エコプの組合員数推移(最新)





「コロナ感染者数」と「コープの配達」の利用者数の関係

出典：福岡県新型コロナウイルス感染症ポータルサイト



■ 新規感染者 (週間) 単位：人

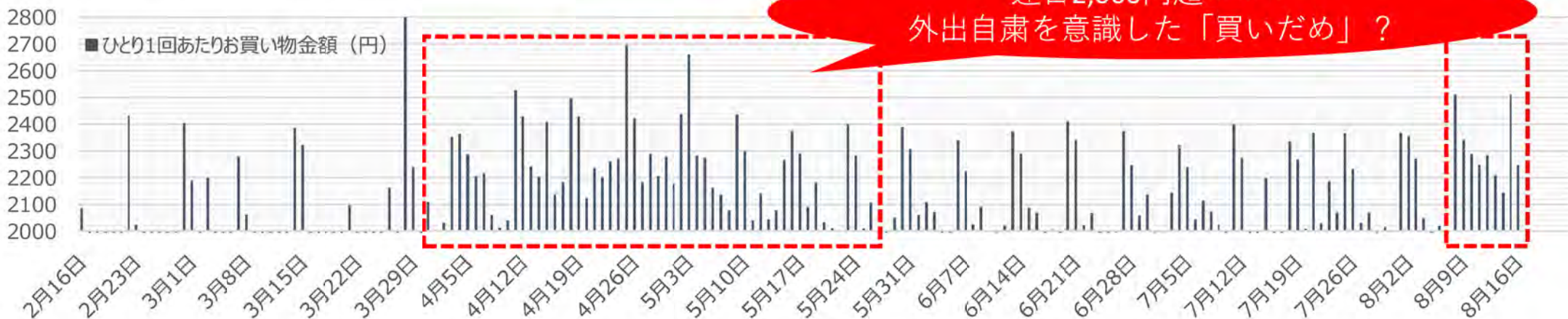
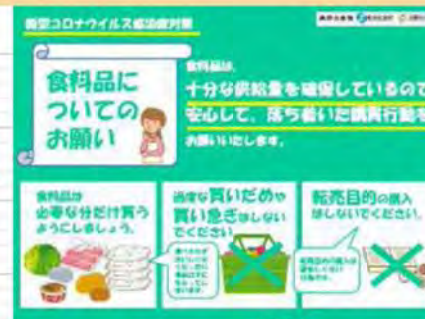
概ね、類似した傾向で推移



■ 週間利用者数 (前年同週比) 単位：%



「外出自粛要請」と「コープのお店」でのお買い物金額の関係





エコーブ基本理念



ともに生き
ともにつくる
くらしと地域

1997年策定





SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

めざすところは同じ

コロナ下で組合員や地域のみなさまをはじめ、お取引先様・関係団体のご協力と従業員の奮闘により、「ライフライン」としての機能を維持できました。

「新型コロナ」の感染拡大だけでなく、近年はさらに大規模自然災害や地政学リスクなどあらゆるリスクが顕在化しており、さまざまな緊急事態の発生の懸念があります。

あらためて、協同組合が、「SDGS」達成への貢献を果たす役割として大きいことを認識しました。



市町村等との主な連携項目



- | | |
|----------------------------------|--------|
| (1) 地域産業の活性化に関すること | ・・・12P |
| (2) 行政及び地域の情報発信に関すること | ・・・15P |
| (3) 健康づくり・食育に関すること | ・・・16P |
| (4) 子育て支援・教育に関すること | ・・・17P |
| (5) 地域福祉の振興に関すること | ・・・18P |
| (6) 暮らしの安全・安心に関すること | ・・・19P |
| (7) 環境に関すること | ・・・26P |
| (8) 防災・減災対策や災害時支援に関すること | ・・・27P |
| (9) その他、地域社会の活性化・市民サービスの向上に関すること | ・・・29P |
| ◆ その他の市町村との連携事例 | ・・・31P |



エコープと他団体の連携実績



協定名	連携先
包括連携協定	<ul style="list-style-type: none"> ・うきは市（2015年） ・篠栗町（2017年） ・東峰村（2020年） ・宗像市（2020年）
災害時相互協力協定	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市社会福祉協議会（2016年） ・福岡県社会福祉協議会（2018年）
東日本大震災等からの復興に向けた寄り添い活動に関する友好協力協定	2017年 <ul style="list-style-type: none"> ・JAふくしま未来 ・コープおおいた
災害発生時の相互協力に関する協定	筑紫女学園大学（2019年）
北九州市における食品ロス及びレジ袋削減に向けた取組に関する協定	2018年
	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市 ・市民団体
	・北九州市内の小売事業者6社
『フードバンクを活用した食品ロス削減推進』 共同研究プロジェクトに係る共同研究協定	2017年
	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県リサイクル総合研究事業化センター ・フードバンク北九州ライフアゲイン
	・フードバンク福岡
子ども食堂の食品の保管場所に関する協定	ふくおか筑紫フードバンク運営委員会（2016年）
子ども食堂の支援に向けた取組に関する協定	2019年 <ul style="list-style-type: none"> ・北九州市 ・子ども食堂ネットワーク北九州
見守りネットふくおか協定	福岡県（2013年） ⇒翌年、各自治体と協定締結
消費者被害の防止に係る共働に関する協定	福岡市（2017年）
福岡市水源の森づくり共働事業に関する協定	福岡市水道局（2018年）